



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、解析前まででしたらご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 眼科 小澤 洋子

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 眼科 小澤 洋子

### **【研究代表者】**

兵庫医科大学 眼科学 五味 文教授

# 加齢黄斑変性の方を対象としたコロナ禍の影響に関する研究

## 1.研究の対象

2017年1月1日から2021年3月31日までに当院で加齢黄斑変性と診断された方

## 2.研究の目的・方法

加齢黄斑変性は急激に視力低下を生じうる疾患で、早期発見・早期治療が望まれます。また治療開始後も、定期的な通院と適切なタイミングでの追加治療の実施が視力維持のために必要となります。しかし、コロナ禍により、受診のタイミングの遅れや、治療中断が指摘されており、それが視力予後の悪化につながる可能性があります。その実態を社会で共有し、医療体制の改良点について考える布石とすることが目的です。なお、既に上記期間に通常の保険診療で記録された診療録(カルテ)を見直す調査です。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年12月31日までの予定です。

## 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目となる情報として、診療録(カルテ)に書いてある生年月日、眼科検査結果、治療の記録等を解析します。

## 4.外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5.研究組織

市立札幌病院(今泉寛子、青木修一郎)  
徳島大学(三田村佳典)  
奈良県立医科大学(辻中大生)  
鹿児島大学(寺崎寛人)  
防衛医科大学(竹内大)  
三重大学(松原央)  
滋賀医科大学(澤田智子)  
信州大学(平野隆雄・家里康弘)  
東京医科大学八王子医療センター(安田佳奈子・新留 絵里菜)  
聖路加国際病院(小沢洋子)  
山口大学(湧田真紀子・木村和博)  
久留米大学(春田雅俊・加藤喜大)  
日本大学板橋病院(横田 陽匡)  
筑波大学(村上 智哉)  
ツカザキ病院(山内知房・永里大祐)